

市民参加型再犯防止推進計画 策定プロジェクトについて ー金武町から更生を考えるー

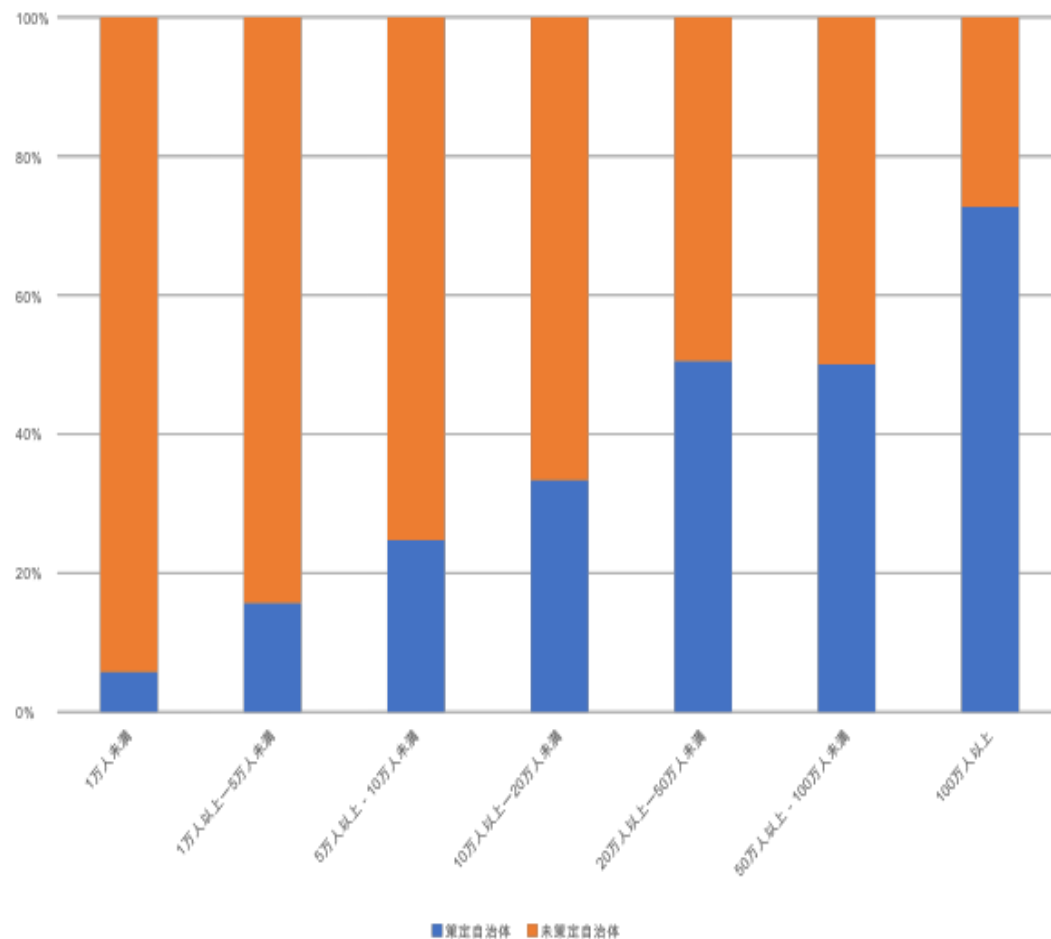
@2025年12月17日

沖縄国際大学 荻野太司



1 自治体にとっての再犯防止推進計画とは・・・

市町村における地方再犯防止推進計画の人口規模策定状況



人口規模の大きな自治体ほど、計画策定にかかる人材、予算も豊富になり、策定が進むのか？

福島県「地方行政計画策定の義務付け・努力義務・できる規定の見直しについて」(2020年7月)3頁。

2019年において「263法律において、390件計画等の策定が規定」

標準的には「計画策定着手から計画策定完了まで、半年～1年を要する」ため、「担当部署と関係部署の負担は甚大」となり、実際に「担当課担当班の超過勤務が計画策定年度に1.5倍となった」

その結果、「行政計画に人員が割かれ政策の中身の業務に支障」をきたすことになり、「人員体制が厳しい自治体、特に規模が小さい市町村は、常時この課題と対峙して」いる
内閣府第108回提案募集検討専門部会

当事者の視点、地域性を欠いた「地域の問題」や「ニーズ」に重点が置かれているように見える。

表 1 再犯者率の最も高い県と最も低い県における地方再犯防止推進計画の重点課題

高知県再犯防止推進計画 重点課題（2017年再犯者率56.5%）

- 1 就労・住居の確保等
- 2 保健医療・福祉サービスの利用の促進等
- 3 非行の防止及び学校等と連携した修学支援の実施等
- 4 犯罪をした者等の特性に応じた効果的な指導
- 5 民間協力者の活動の促進等、広報・啓発活動の推進等
- 6 国・民間団体等との連携強化

茨城県再犯防止推進計画 重点課題（2017年再犯者率42.7%）

- ① 国・市町村・民間団体等との連携強化
- ② 就労・住居の確保
- ③ 犯罪をした者等の特性に応じた保健医療・福祉サービスの利用援助等の支援
- ④ 民間協力者の活動の促進
- ⑤ 広報・啓発活動の推進

当事者の視点、地域性を欠いた「地域の問題」や「ニーズ」に重点が置かれているように見える。

犯罪防止活動は、「極めてローカルな実践でありながら、地域性を等閑視した平行移動的な議論が行われる」ことが多い。

吉中信人「保護観察の犯罪予防機能」犯罪と非行158号(2008年)81頁。

これまで犯罪予防活動には、コミュニティソーシャルワークの有用性が指摘されてきた。

・直接サービスを提供する機関が、ニーズを把握し、適切なサービス提供のための社会資源を獲得・維持し、地域社会内にその機関に対する支援体制を発達させる

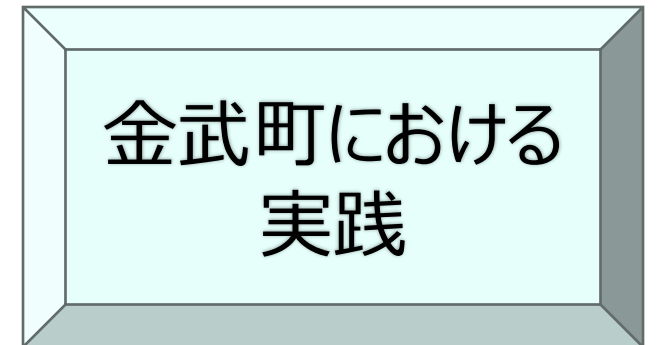
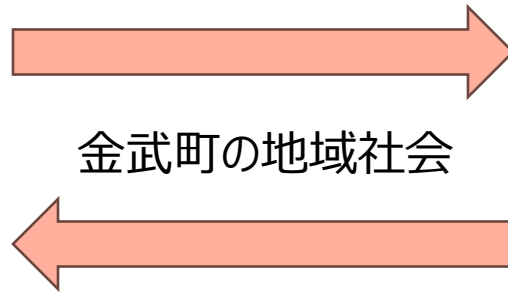
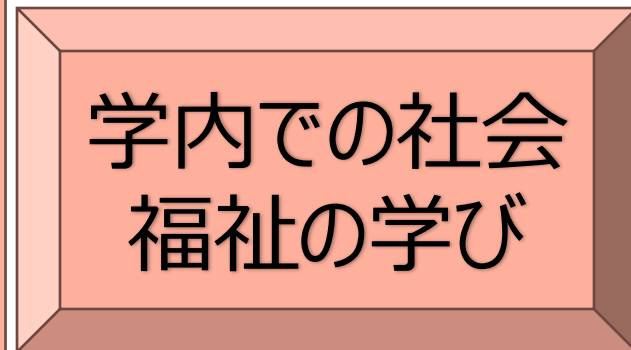
・関係機関・団体間の調整と共同計画の策定

・地域住民自身が、地域の問題を明確に認識しニーズを充足させるための活動を組織的に展開できるよう援助

鈴木美香子「ソーシャルワークと更生保護」『更生保護の課題と展望』（共同印刷、1999年）258-259頁。

そこで

- 大学も社会資源の一つ。計画策定に利用。



学生（大学）にとってのメリット

1. 実践的な学びの獲得

教室で学んだ理論を、実際の地域課題に応用することで、理解が深まります。
フィールドワークを通じて、調査・分析・企画立案などのスキルが身につきます。

2. 社会福祉の現場を体感できる

更生保護や再犯防止といった、教科書では触れにくい分野に直接関わることで、福祉の多様性を実感できます。

支援対象者や地域住民との対話を通じて、当事者理解が深まります。

3. 地域とのつながりを実感できる

地域住民や行政との協働を経験することで、「福祉は地域で支えるもの」という視点が育まれます。
地域資源の活用や課題発見の力が養われます。

4. キャリア形成への好影響

実践経験は就職活動や進路選択において強みになります。

福祉・行政・教育など多様な分野への関心が広がり、自分の進路を考えるきっかけになります。

5. 自己効力感と社会的責任感の向上

自分の提案や行動が地域に影響を与える経験を通じて、自己肯定感が高まります。

社会課題に対して「自分にもできることがある」と感じることで、主体的な行動力が育まれます。

自治体にとってのメリット →シティプロモーションとして

1. 地域課題への新しい視点の導入

学生の柔軟な発想や多様な視点による、従来の行政の枠組みにとらわれないアイデア
若者の視点を取り入れることで、より包括的で実効性のある施策が生まれる可能性

2. 地域住民との関係強化

学生が地域に入り、住民と対話することで、自治体と住民の間に新たな信頼関係を構築
住民の声を計画に反映するプロセスが、自治体の透明性と参加型行政を推進

3. 人的資源の活用と育成

学生の協力により、調査や企画立案などの業務を効率化
将来の福祉・更生保護分野の担い手を育成する場として、自治体が教育機関と連携する意義

4. 地域イメージの向上

大学との連携や社会的課題への積極的な取り組みは、自治体の先進性や社会貢献度を高める
外部からの評価や注目が集まり、地域のブランド力向上

5. 政策の実効性と持続可能性の向上

実地調査に基づいた計画は、現場の実情に即しているため、実効性が向上
若者の関与により、継続的な見直しや改善のサイクルが生まれやすくなる

金武町プロジェクトでの取り組み

1 R6 協定の締結



2 プロジェクトの柱

- ①学内における教育
- ②フィールドワーク
- ③プレゼンテーション
- ④研究

3 具体的な提言方法と内容

- ①フィールドワーク、調査を実施
- ②金武町担当者、および那覇保護観察所から必要な助言、協力をいただく
- ③金武町にフィールドワーク活動費用を求めない
- ④計画案の採用不採用は金武町が判断

ありがとうございました

荻野 太司

ogino@okiu.ac.jp

〒9012701

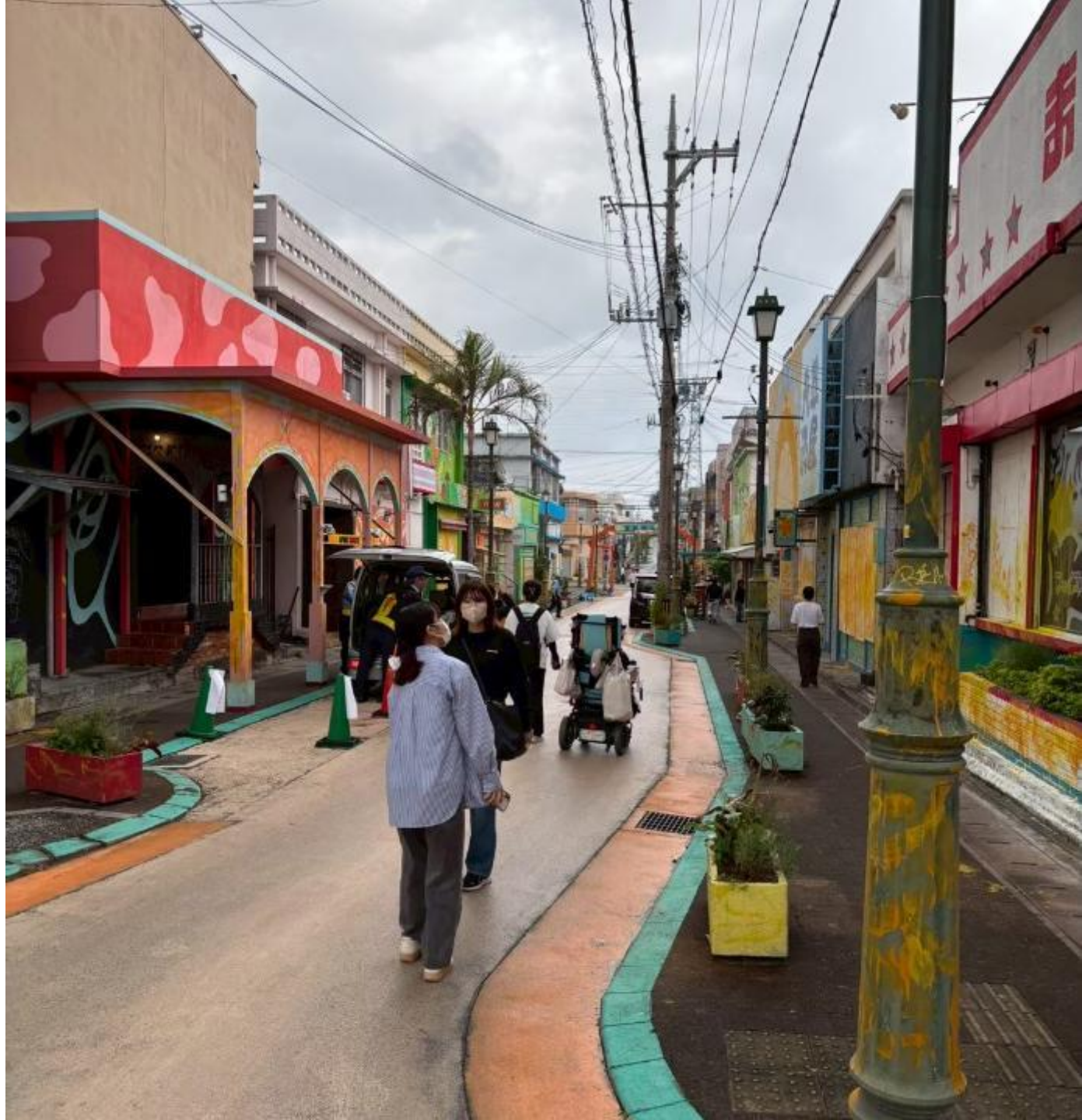
沖縄県宜野湾市宜野湾 2 - 6 - 1

沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科

9号館400室

金武町 フィールドワーク

地域の特性と発見を
まとめた調査報告



自己紹介

沖縄国際大学
人間福祉学科
社会福祉専攻

具志 竜輝

ゼミ長

趣味:



沖縄国際大学
人間福祉学科
社会福祉専攻
3年次
上原巨二郎

概要

- 2025年3月15日
- 学生数 3～4年次10名
- カフェレストラン（長楽）にて昼食→フィールドワーク（松藤、金峰山、新開地、大川公園、ネイチャー未来館、KINサンライズビーチ）





人口・面積・基地の特徴

人口と高齢化率

金武町の人口は11,451人で、高齢化率は27.8%。

面積と世帯数

町の面積は38.02平方キロメートルで、世帯数は5,625。

米軍基地の影響

町の面積の55.7%を米軍基地が占め、地域の経済や文化、治安に大きな影響。

町の将来ビジョン

「夢と希望がもてるまち」を基本目標に、自然との調和や心のふれあいを重視。

名産品と観光地



沖縄の名産品

金武町の名産品は泡盛、タコライス、田芋、マンゴー、パイナップル、もずく、海ブドウなど多彩で地域産業の強みです。

KINサンライズビーチ

KINサンライズビーチ海浜公園は800メートルの長いビーチで海水浴やマリンレジャーが楽しめる人気の観光スポットです。

歴史と自然の観光地

金武観音寺や文化財の湧水地ウッカガー、ネイチャー未来館は歴史と自然を体験できる訪問者に人気のスポットです。

第5次総合計画と福祉施策

包括的福祉推進

高齢者、障がい者、子育て支援、健康づくりを含む包括的な地域福祉を推進。

連携強化とユニバーサルデザイン

地域包括支援センターと社会福祉協議会の連携強化と、ユニバーサルデザインを採用した公共施設整備。

複合庁舎の整備

保健・福祉・防災機能を一体化した複合庁舎を整備し、ワンストップ相談体制を構築。



金武町

Kin Town

地域課題と改善策



地域の治安課題

夜間の治安悪化と歓楽街での犯罪が地域の安全に影響を与えています。

改善案

見守り体制の強化

警察や民間企業との連携で見守り体制を強化し、地域の安全維持。

再犯防止ネットワーク

更生保護女性会や保護司と協力し、再犯防止のためのネットワークを構築。

子ども支援策の充実

出生率の高さを活かし、子どもに関する施策を強化し地域の魅力を高める。

フィールドワークの成果

観光地の魅力体験

自然、文化、グルメが調和した地域の観光資源の魅力を直接体感。

地域のつながりの重要性

地域の人々とのつながりが再犯防止や福祉向上に不可欠

現地課題の直接確認

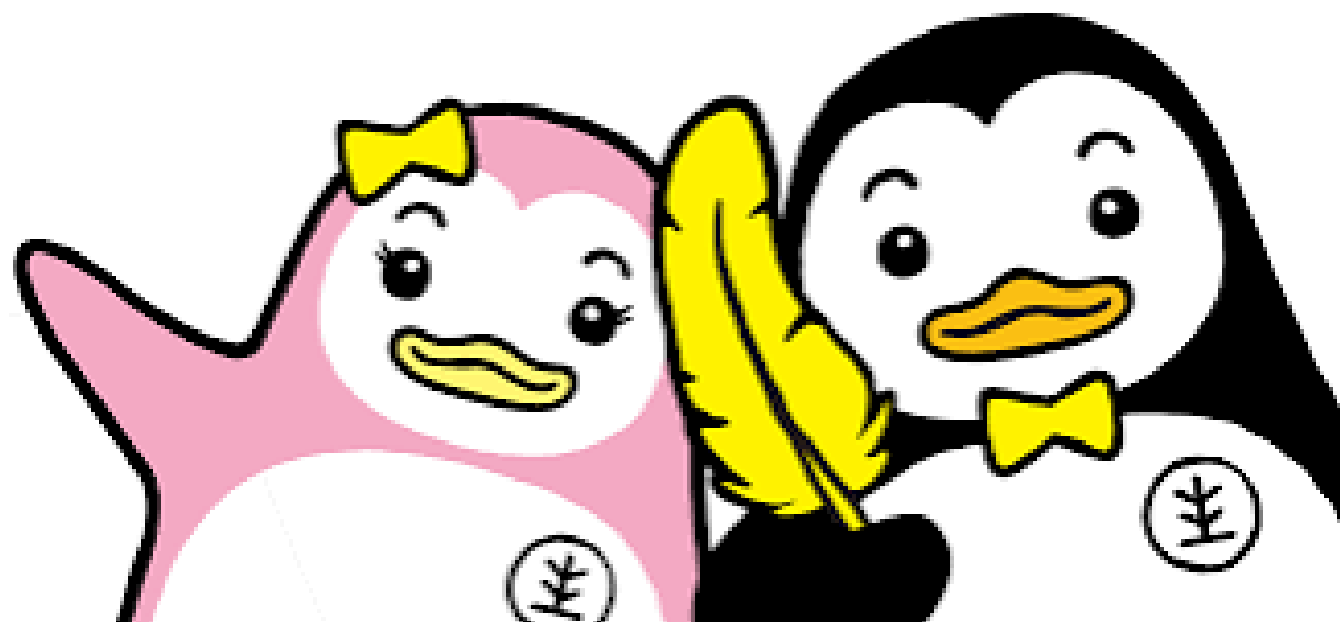
資料ではわからない現場の課題や資源を直接確認し、現実的な課題にのつとった案を考えることが可能になった。

持続可能なまちづくり

福祉計画と観光資源を融合し、地域支え合いのネットワーク構築が重要。



更生保護（ゆんたく）
カフェ
沖縄国際大学 社会福祉専攻3年次
川満 藍花



ゆんたくカフェって？

「沖縄の文化」×「更生保護」＝更生保護（ゆんたく）カフェ

沖縄の“ ゆんたく ”文化、つまり気軽な対話や交流。

それを更生保護にどう活かせるのか。

学生・地域の人々・ボランティアの方々が一緒になって考える場。

それがこの「更生保護カフェ」である。

モチーフは “哲学カフェ”

哲学カフェとは...

日常的なテーマについて参加者同士が自由に対話し、考えを深める場のこと。専門的な知識がなくとも参加できる、開かれた哲学の実践の場として知られている。



～哲学カフェの意義～

- ・ 自身の価値観を見直しつつ、多様な価値観に触れる
 - ・ 他人と深い会話ができる
 - ・ 思考力、対話力が養われる

目指すこと

01

「対話で理解を深める場に」

このカフェの目標は、
「地域の資源」を生かしながら
「対話」を通じて更生保護への
理解を深めること。

堅苦しい話ではなく、カフェの
ようにリラックスしながら、でも
本質的なことを語り合う場。

02

ーカフェのルールー

「否定しない」
「誰でもわかる言葉で」
「傾聴を大切に」などを設け、安心して語り合える雰囲気を作成する。

2025年5月15日

金武町の「リカモカカフェ」で開催

沖縄国際大学（荻野ゼミ）の学生、
保護司（中部北部保護区）
那覇保護観察所の保護観察官
沖縄ダルク関係者など

計24名が参加

テーマ

「なぜ、犯罪を犯した人を支援するの
か？」





保護司による体験共有

宜野座美香さん

両親の離婚・家計困難で中学時代は苦しい生活を経験した。

「明日を生きるのに必死で、誰に助けを求めているのかわからなかった」と語る。

この自身の過去を踏まえ、少年補導員を経て保護司に。

対象者に「自分で人生を選べる」と励まし、更生の支援に取り組んでいる。

参加者の感想（学生）

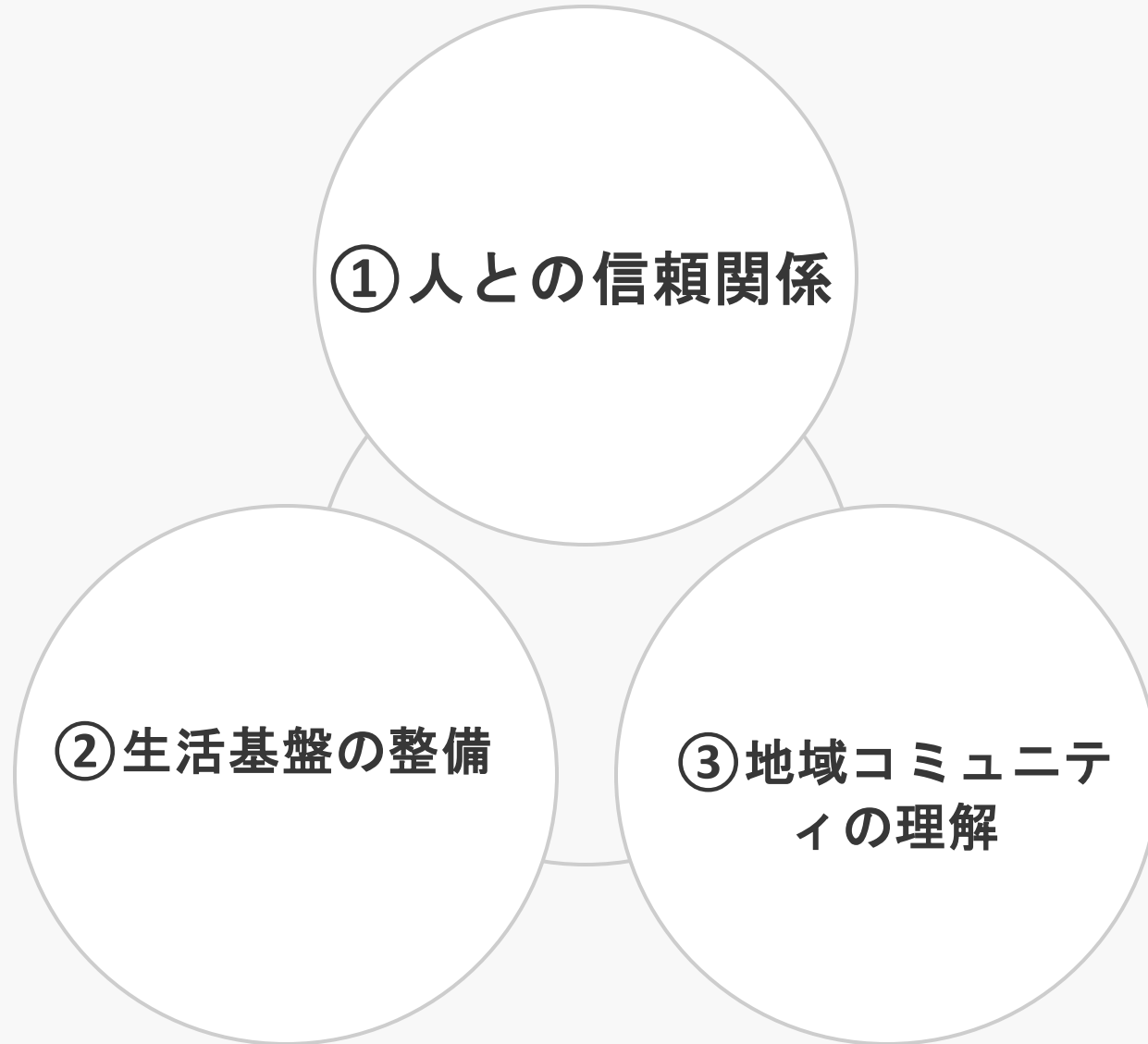
具志竜輝さん

心身に傷を負った被害者のケアが第一に求められる中でも、犯罪や非行をした人を支援する保護司について「（自身の）心をどうやって保っているのか」と問いを残した。

罪を犯した人を許容できない人も多いとしたうえ、「どのように更生保護に向き合えばいいのか今後とも考えていきたい」と語った。



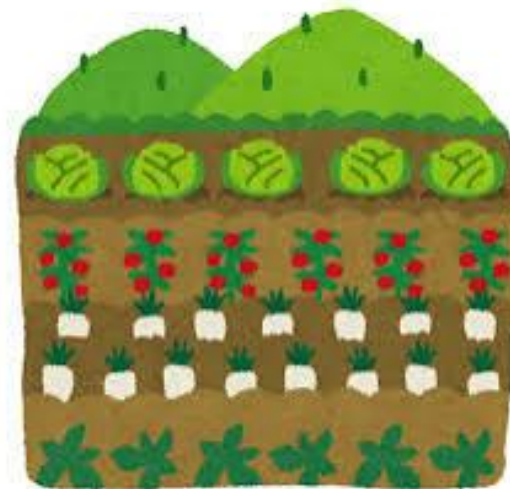
更生支援は制度的枠組みだけではなく、



—

今までの取り組みから考えた
新アイデア

農作業体験プログラム



耕作放棄地活用×就労支援プロジェクト

- ☆耕作放棄地の再生
- ☆就労・社会参加支援、地域連携を目指す



学生としての役割

- ・ プロジェクト設計・運営
- ・ 広報（SNS、映像、写真）
- ・ 販売支援
- ・ 記録・評価（データ収集）
- ・ 地域や行政、保護観察機関との調整窓口





また このプログラム活用して...





コンセプト案 「更生保護BAR」

農業プロジェクトで収穫した食材を活用
→スイーツやおつまみ、お酒に！

カフェより少し“大人”で夜の時間帯でも人が繋がれる場所。
アルコールを通して本音を少し話しやすくしながら、
支援・交流・理解を広げる場になる。

メニュー案

「リスタートサンライズ」

アップルやパイナップル
×
泡盛（龍・松藤）



←画像イメージ

⇒泡盛と果実ジュースを割って、南国風カクテルに。
果肉を漬け込んでもGOOD

金武町再犯防止推進
プロジェクトから
学んだこと
考えたこと

沖縄国際大学 社会福祉専攻 4年次
田場 女偉



行動・実践の場



金武町フィールドワーク

考え続ける場





更生保護カフェ



これまでのプロジェクト内容

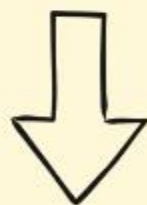


	活動	発信
学内	<ul style="list-style-type: none">・ 更生保護カフェ（学内）・ フィールドワークの振り返り・ 他大学の先生や専門職からの講義	<ul style="list-style-type: none">・ ホームページ掲載・ 大学認証評価 学生面談への参加
学外	<ul style="list-style-type: none">・ 金武町フィールドワーク・ 更生保護カフェ（学外）・ 更生保護女性会と協働でマスコット作成・ごはん会・ 更生保護Bar（企画中） 	<ul style="list-style-type: none">・ プロジェクト発足時の記者会見・ 全国矯正展・ 金武町にて中間報告会・ 流山市議会議員へプロジェクト紹介・ 新聞記事掲載・ 写真展の開催 

今後のプロジェクト



計画案に盛り込む地域性
ってなんだろう？



GOAL : 金武町再犯防止推進計画(案)提出
だけど・・・!!

このプロジェクトに参加する 学生として・・・

